

町のうごき

本籍数	4,202
本籍人口	14,339
世帯数	2,858
住民登録人口	13,333
内 男女	6,579
	6,754

12月1日現在

発行・秋田県天王町役場 TEL(天王)1.42.135
編集・企画室 印刷・一日市印刷所 TEL(一日市)38

新春を迎えて

天王町長 藤原慶三郎

町民の皆さん、明けましておめでとうござい
ます。輝かしい昭和四十四年の新春を迎え、
皆さんとともに心からお喜び申し上げます。



激動し、農業問題、大学問題等

昨年 は内外 幾多未解決の問題を残して、一
ともに 世紀にわたる明治百年の意義あ
大きく る年を送り、今新たな試練の年
ゆれ、 を迎えるに当たり、感慨またひ
と とおであります。

特に、農業中心の特殊地帯で
ある本町は、食管制のなしくず



迎春

1969

しを意図する 政府の農業施策
のゆくえに注目しなければなら
ないと思います。

①米の新規開田をストップさ
せ、作付け転換を図り、生産を
調整する。

②「自主流通米」を実施し、
政府買入れ量を減らす。

右二点に関しては、米以外に安
定した作目のみられない本町に
っては、このような政策には
賛成できず、今後も「稲作中
心」プラスアルファ農業を強く
推進いたす覚悟です。

昭和四十三年度政府売り渡し
米は、約十一万五千俵で、昭和
四十二年度の大豊作を約五百俵
も上回る本町有史以来のことで
あり、農家各位のご苦労に對し
て心から敬意を表するとともに
、より以上の増収意欲を燃や
し、努力されますようお願い申
し上げます。

三ヶ年計画で実施してまいり
ました二田地区農業構造改善事
業も関係各位のご協力により完
了し、三ヶ年区画の立派な
美田と化して地域農家によるこ
ばれ、永年湖岸住民待望の農免
道路四千六百メートルの全面舗
装も実現し、石垣でたまたれた
みことな道路として交通産業の
便に貢献し、町村関係では全県
一を誇る中央公民館の完成(一
月三十一日竣工予定)も間近
人づくりの殿堂ひときわ光を放
つ、またゴミ焼却炉の工事も着
々進み、環境も徐々に整備改善
され、住みよい町として、日一

一月のこよみ

- 1日 元旦、年賀、初もうで
- 2日 初荷、初憂、書き始め
- 4日 官庁御用始め
- 5日 小寒
- 7日 七草
- 8日 町消防団出だめ式
- 15日 成人式
- 19日 家庭の日

日と進展をつづける伸びゆくわ
が郷土天王町の姿であります。

さらに昭和四十二年度決算は
単年度で五百二十四万円、通算
二千七百七十一万五千円の黒字決
算であります。乏しい財政なが
ら人件費、冗費を節約し、常に
一定の目標と計画(中央公民館
の建設)をたて、財政を効果的
に投下運用しております。この
ように多くの町事業を完遂しつ
つ、なおかつ健全財政を堅持し
得ましたことも、議会や職員を
始め、町民各位の町施策、町税
に対するご理解ご協力のたまも
の心から感謝申し上げる次第
であります。

今年度は従来の農業振興政策
や学校、社会教育の充実もち
ろんのこと、特に、
①幼児教育の施設改善
②工場誘致による産業の振興
③道路の重点的整備、交通事故
対策
④福祉行政組織の整備および充
実等を重点的に考えておりま
す。

新産都市指定に伴う工業開発
の促進については常に意を用い
昨年秋田セイコー電気株式会社
(一月十六日開始)の決定を見
ました。さらに大企業誘致の
運動をつづけており、その見通
しはきわめて明るく、町民のこ
要望にこたえ、出かせぎ問題の
解決や中学校、高校卒業者の就
職の場に寄り、産業振興のた
め一段の努力をいたす覚悟であ
ります。なお、船越新港建設の
見通しも明るく、江川浜地区一
帯の開発の夢は大きく、天王町
の発展はおのれに約束づけられ
ております。

本町は、今一步一歩明るい町
になりつつあり、従来ややもす
れば感情的なものの考え方、左
右された時代から前進し、現在
は町民各自が正しいことは正し
い、悪いことは悪いと正邪の判
断を誤らず、自己の良識に基づ

いて言動しております。

「ローマは一日にしてなら
ず」と言われますが、今ようや
く正しい方向にむかってきたこ
のよい風潮を伸ばし、住みよい
郷土天王町を建設するかどうか
は、一に町民各位の自覚と正し
い考えを実行に移すかどうかで
あります。

私は三年八カ月の町政を振り
かえる時、いろいろ苦しいこと
もありましたが、現実の財政お
よび町の状態を考えるととも
に、十年後、二十年后に天王町
がいかに発展してゆか、それ
にはいかなる施策を、どう対
処すべきかを常に頭に浮かべ、
そして考えてやっています。ま
た、単なる思いつきや、今、財
政が苦しいからといって、適当
にやるごときはごまかしの町政
であり、責任ある首長として断
じてとるべき態度でないとい
を強くいまして、たとえば一本
の道路の建設にしても、将来藤
原がこんなことをやったのかと
言われたくない男のいじと、自
己の名を惜しみつつ、郷土愛の
一念に燃え、積年の弊を打破
し、明るい町づくりのため、正
義感と勇気を持って懸命の努力
をしてまいりました。どうか町
民各位も自分や将来に生きる子
供を大切に考え、郷土愛と人間
愛に燃え、自分の住むご家庭と
町づくりのため、一段とご努力
くださいますよう心からお願
い申し上げます。

最後に、歴史的発展につなが
る「躍進天王町」の町づくり
に本町の青壮年、ご婦人のかたが
たの奮起を促し、所感の一端を
のべ、町民各位のご協力ご理
解を心からお願いいたします。決意
を新たに、町発展のため希望
に満ちた明るい年にしたいと思います。

断を誤らず、自己の良識に基づ

断を誤らず、自己の良識に基づ

◆◆年頭にあたりて◆◆

天王町議会議長 京谷仁太郎



昭和四十四年の新春を町民各位と共に心からお祝い申し上げます。

さて、昨年の我が町政をふりかえりみます時、町財政の乏しい中で予定された諸事業は着々と実をあげ、百パーセント近い完成をみました事は町当局の立案計画の万全と実行にあたっての努力のあらわれであることに對して深く感謝申し上げる次第であります。

私達議会も町民各位の意志を

◆◆年頭所感◆◆

天王町教育委員長 藤原慶一郎



町民の皆さん、新年おめでとうございます。さいま

皆さんお元気で新しい年を迎えられたことと推察いたします。天王町の教育は、幼児教育より小、中学校の義務教育を経て社会教育にいたるまで、町民各位のご協力により向上発展の一途をたどっていることはまことにご同慶のいたりであります。

あり、また小、中学校の児童生徒合計二千六十八名が各学校の教職員の適切な指導とPTA、校外指導員等の暖かい手にまもられ、学力も位体も漸次向上し心身ともに健やかに成長しております。

今後の状況によつては農業経営が一大転換期が来るものと予想されますので、農閑期の労働力の利用、出かせぎ対策、空地の利用等新産都市計画と共にこれらの諸問題にあたなければならないのであります。

◆◆新春を迎えて◆◆

天王町農業委員長 佐藤栄藏



新しい年を迎え、謹んでおよろこび申し上げます。

昨年のはしも専作に恵まれ、私共農業者にとつて、このうえないよろこびとご同慶に堪えません。

しかしながら教育の道は深遠であり、いくらやってもこれ十分ということはありません。

輝かしい新春をむかえられた町民のみならず、心から明けましておめでとうを申しあげます。

ご研鑽とご努力はもとより、町はじめ諸関係機関のご指導よろしきを得た賜と、心から敬意と謝意を表する次第でございます。

◆◆新年に当りて◆◆

天王町公民館長 藤原寛一



い新春をむかえられた町民のみならず、心から明けましておめでとうを申しあげます。

新しい年をむかえ、職員一同は新たな心でこの中央公民館を拠点にして質的に高く、香り豊かな活動をすすめるために、一層の努力をすすめる所存です。



年頭に際して

天王町消防団長 藤原 吉治郎

町民の皆さん、新年おめでと
うございます。ことしも相変わ
らずご健康とご多幸を、お祈り
申し上げます。

人生の最も障害となるものは
病氣と災害であります。皆さん
の生命と財産を、災害から守る
任務を持つ本町消防団では常に
火災予防運動を、長年にわたり

新年を迎えて

天王町婦人会長 渡部 ツナ

厚い雲を押し上げるようにし
て、一九六九年の初日が輝かし
い光を放っておどり出る一瞬に
一年のもう一つのつかれがすつ
と消えて心改まる。

町民の皆さん明けましておめ
でとうございます。
すがすがと初日に赤き
血のもえて
こども健かにはげまん
今の決意に

皆さんにお願い!

町政のできごとについては毎
月の広報でお知らせしては
いるが、町政に対する。皆さん
の意見、ご要望などなかなか広
聴できないのが実情です。

そこで町では「広報でん
のう」二月号より「町民の声」欄
を設けて、皆さんの意見、要望
には納得のいく解答し、皆さん
に直結した町政を行なう基礎資
料にしたいと思っております。

町に関するどんなちいさなこ
とでもよいから多数投稿してく

件で、事故件数では我が町の史
上最高で不名誉は申すまでもあ
りません。この原因は主として
家庭の主婦たちの火の不始末と
子供の火遊びからであります。
「焼けて泣くより事前の注
意」と、昔のことわざにもある
ようにお互いの幸福のために、
私の家からは火事を絶対に出さ
ない心構えで、ことしこそは無
火災強調年度として明るい住み
よい町づくりを、町民一体とな
ってご協力下さい。

私達はこの結論を見るまで、
婦人会を基とし、地域ぐるみで
努力して行きたいと思っております。
豊漁のハタタが主婦の真心
こめた手によってじゃうずが調
理されて、お正月の食糧をかざ
ると思っております。家族全員で感謝
の心で召しあがってくださいま
すように、十人十色、味も色々
あると思っております。話合はすしの
味からもたのしく発展していき
そうです。

話題のたくさんある明るい家
庭づくりをモットーに今年もが
んばりたいと思っておりますので、ご
協力をお願いします。
健康ですてきな良い年であり
ますように、新年にお祈りいた
します。

家庭の中で主婦は花開いたよ
うな存在であるようにと、ささ
やかな願いの充実をみるために
は意外に大きな努力とたゆまな
い勉強の必要であることを痛感
します。

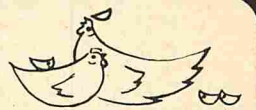
お願

天王町役場「町民
の声」係

失業者の多くは、失業保険受給
手続きは、必ず
役場をとおしてください。職業
安定所の本町受け付けは金曜日
です。その日以外は受け付けま
せん。
わからないことがありましたら、
役場民生係までおたづねく
ださい。

善意ありがとう

▼二田の船木雷治さん(四十
九歳)は、このほど町社会福祉
協議会へ「長男正義不幸の際の
香典返しです」と二万円を寄せ
られた。



新年 謹賀

1969

天王町役場

町長 藤原慶三郎
助役 児玉孝之助
総務課長 伊藤清之助
収入役職務代理者 大関与五郎

企画室長 大関与五郎
税務課長 石黒兼造
経済課長 大関良作
建設課長 山寺富治

総務課長心得 船木雷治
職員 一 同

天王町監査委員

金 栄一
伊藤 邦夫

天王町固定資産 評価審査委員会

委員長 佐々木吉太郎
委員 船木助太郎
委員 児玉良之助

天王町選挙 管理委員会

委員 鎌田悦郎
委員 安田慶太郎
委員 菊地栄治郎
委員 渡部泰三

天王町議会

議長 京谷仁太郎
副議長 桜庭梅之助
議員 渡部重助
議員 鎌田堅治郎
議員 三浦兼男
議員 三浦重春
議員 竹治 藤原直一郎
議員 島崎 藤原吉治郎
議員 石黒喜久治郎 松村政雄
議員 上坂 順治 藤原吉治郎
議員 佐々木幸蔵 児玉長栄

菊地徳治郎 伊藤 邦夫
安田寅五郎 船木 音吉
石黒 俊蔵 三浦利三郎
中村 政雄 渡部 新一
高橋 留吉 米谷多一郎
事務局長 渋谷 健蔵

天王町教育委員会

委員長 藤原慶一郎
職務代理 西村 鐘三
委員 三浦 兼吉
教育長 海山徳之助
職員 渋谷 円助

天王町農業委員会

会長 佐藤 栄蔵
職務代理 安田 亦六
委員 上坂 順治
委員 浅野惣太郎 目黒 久治
委員 柏崎金石工門 佐々木吉之助
委員 藤原 菊治 柏崎 東一
委員 海老沢勝治 三浦 重春
委員 戸田 藤三 桜庭専太郎
委員 吉田 銀忠 佐藤祐太郎
委員 古山 良蔵 石川久米治
委員 加賀谷清吉 藤原 金治
委員 菊地 貞蔵 児玉 正
事務局長 田口 巖

天王町公民館

館長 藤原 寛一
副館長 後藤 春治
職員 一 同

天王町消防団

団長 藤原吉治郎
副団長 伊藤武一郎
職員 菊地 貞蔵
職員 一 同

成人おめでとう

◆三百一名の前途を祝福◆

!!新成人!!のみなさんおめでとうございませう。
みなさんの新しい門出を祝う昭和四十四年度の天王町成人式は一月十五日に天王小学校で行ないます。

当日は式典のあと、記念撮影やフォークダンスが催されるなど、成人の日にならぬ多様な日程が組まれており、成人の日を有意義に過していただき、この激変する社会にあつて、必ず輝かしい日ばかりでなくむしろ多事多難であると思ひます。成人になられた感激をいつまでも心に秘めて、く明るく住みよい社会づくりにがんばってください。

社会になつて立とうとするみなさんの前途を心から祝福いたします。

成人者名簿

【塩口】桜庭ハル 桜庭タケ子 桜庭与四郎 丸谷金一 桜庭方子 丸谷マリ子 桜庭新悦 石川金孝 桜庭嘉一郎 桜庭兼重 桜庭ハル子 桜庭本子 桜庭美智穂 石川ミヨ 桜庭京子
【中羽立】日黒文男 菅生良子
【羽立】菅生ムツ子 菅生康子 渋谷敏雄 菅生ノリ子 渋谷邦子 鈴木俊衛 安田タミエ 安田喜久治 安田康子 安田美子 鈴木久雄 安田邦弘 菅生隆一 安田登美子 安田ミツ子 安田三三子 目黒久一 石川庄左エ門 安田チャ子 工藤武夫 安田れい子 安田兼男 鈴木ノブ子 鈴木妙子 鈴木精徳 鈴木

恵美子 安田たよ子 鈴木専太郎 安田進一 工藤清秋 安田正昭 山寺政繁 嶋崎エミ子 鈴木登
【塩口】桜庭美江子 加藤光男 米谷貢 丸谷ミツ子
【天王】大沼育子 山田則子 金子ミツ子 柏崎正幸 米谷市子 戸田トヨ子 戸田光正 玉カズ子 加藤敬子 石川国男 田仲実 柏崎克三郎 児玉正道 鎌田仁史 戸田正 金子忠敬 高桑一男 伊勢谷厚子 柏崎由宏 越後文雄 戸田トモ子 鈴木良磨 杉淵景悦 柏崎洋子 西村伊生 村山久兵衛 菊地利春 石黒栄子 児玉恵子 米谷範子 西村彰 戸田ナヲ子 水戸谷悦子 児玉政夫 柏崎恵子 三浦京子 児玉隆 佐藤祥平 戸田宏子 越後俊広 佐々木実 戸田泰司 石井誠 児玉敏宏 石黒康一 木村せつ 越後谷隆彦 村山春男 石黒芳子 米谷兼夫 石川和徳
【江川】藤原幸誠 藤原清美 藤原誠光 伊藤礼子 伊藤二三子 伊藤寛 石井なほみ 伊藤正秀 太田キサ 児玉光太郎 児玉清一 伊藤洋子 藤原成利 伊藤千恵子 伊藤一雄 伊藤時雄 伊藤雪子 藤原クニ子 伊藤貴栄子 伊藤久雄 藤原ミチ子 藤原ミツ 藤原忠和 伊藤武 藤原アヤ子 藤原金久 武田アヤ子 伊藤イヨ子 伊藤春男 藤原高子 藤原武夫 伊藤昭光 藤原サツ子 藤原辰雄 藤原勇子
【児玉】菅生良雄 松村マサ子

佐藤ひろ子 佐藤リサ子 佐藤和則 佐藤金悦 鈴木エミ子 渡部アイ子 菅原のぶ子 森元秋夫 小柳俊行
【大崎】三浦寛 三浦信男 加藤佐治 三浦久子 三浦ヒロミ 三浦春子 三浦新七 三浦礼子 三浦フサ 三浦敬二 三浦新市 三浦ミキ子 三浦チヤ 三浦キミ子 三浦ミツ子 吉田敏子 和田三浦和夫 三浦俊美 三浦了三 三浦一四 三浦充 吉田清 三浦ヤス子 三浦清美 三浦明三 三浦重勝 金三男 三浦貞子 吉田秀秋 吉田進 三浦清男 吉田秀秋 鈴木洋一 武田勇子 日黒初枝 小柳進 藤原静子 船木義夫 郭賀祐行 三浦順子 大関守 鎌田祐子 落合均 滑川重行 太田正 黒川由紀子 三浦シジ子 三浦久雄 石黒富美子 上法香居 三浦進 鈴木吉秋 加藤光春 伊藤貴美夫 下間恵子 佐藤弘子 中村和典 船木君子 伊藤洋子 真壁和子 越後谷信悦 大関幹子 伊藤清春 刈田みち子 佐藤ケイ子 桜庭愛子 中島テル子 工藤誠 遠間忠広 小沼ヒデ子 橋本紀子 真壁スミヨ 真壁美智子 佐々木正 佐藤国夫 森元敬 戸田正子 千浦政逸
【細谷】真壁ヒメ子 戸嶋ミエ子 菅原ハチ子 菅原サダ子 菅原チヨ子 菅原幸次郎
【蒲沼】佐々木喜恵子 村井誠市 藤原徳則
【鶴沼台】藤原ナリ子 真沼年江 工藤清
【下出戸】佐々木直子 佐々木一男 加賀谷茂 加賀谷優子 加賀谷チナ子 菊地優子 佐々木吉子 加賀谷ヨネ子 佐々木律子 佐々木義和 佐々木久悦 長谷川誠治 加賀谷キミ子
【出戸開拓】安田進 佐々木与一郎 原田文夫 佐々木公一郎
【上出戸】古山満 菊地政美 伊藤ヒサ子 伊藤ヒロ子 佐藤

式に出ぞめ

▷永年勤続団員らを表彰◁

恒例の天王町消防団出ぞめ式は一月八日午前十時三十分から天王中体育館で行なわれる。この式で第六分団の安田善太郎分団長をはじめ次の人々が晴れの表彰を受けることに

- 新一(団員) 【第八分団】加賀谷兼(団員) 【第十分団】渋谷市朗(班長) 【第十一分団】菅生善太郎(副分団長)
- 十年勤続章 【第二分団】越後茂雄(団員) 石川次男(同) 村山雷治(同) 石黒勝美(同) 柏崎昇(同) 児玉英逸(同) 鎌田健一(同) 村山殿(同) 【第三分団】伊藤竹道(団員) 【第七分団】桜庭俊雄(団員) 【第八分団】加賀谷清助(団員) 【第九分団】成田龜雄(団員) 佐藤健一(同) 渋谷親(同)

知事表彰

このほど内定した。
有功章【第六分団】安田善太郎(分団長)
二十年勤続章【第一分団】船木雷治(班長) 【第二分団】戸田資郎(班長) 鎌田金悦郎(班長) 京谷金治郎(団員) 【第四分団】菊地福右衛門(班長) 菊地博(団員) 菊地銀治郎(団員)

男鹿分会会長表彰

七年勤続章 【第七分団】桜庭金秋(団員) 【第九分団】進藤信一(団員) 水沢正夫(同) 佐々木鐘吉(同)
五年勤続章 【第四分団】菊地五郎(団員) 【第八分団】加賀谷儀助(団員) 【第九分団】佐藤兼好(団員) 【第十分団】桜庭金也(団員) 【第十一分団】菅生孝太郎(団員)
一般表彰 【渋谷】渋谷健蔵(渋谷戸主会長) 【追分】草階金五郎 【出戸開拓】武田幸一

農業委員選挙人名簿

昭和四十四年分の農業委員選挙人名簿は一月一日現在をもって作成されます。
今年任期満了による農業委員選挙も予定され、この名簿の登載者をもって選挙が行なわれますので農家のまたは次の点を承知され、期日までに必ず申請書を提出してください。
申請書の提出
一月十日まで囑託員宅へお届けください。
申請のできる人
天王町に住所を有する満二十才以上(昭和二十四年四月一

心配ごと相談室

毎週月曜日です
今日は六月、十三日、二十日、二十七日の四回開かれます。悩みごと、心配ごとのある人は気軽に役場の町民室へおいでください。開設時間は、午前九時から午後三時までです。

寝る前に、お出かけ前に、もう一度火の元の点検をしましょう。

43年町のあれこれ

昭和四十四年を迎え、昨年一月から十二月まで町内であった主なニュースを拾ってみると次のようなものとなっている。

★一月

◎一月八日 新年恒例の天王町消防団出だめ式、盛大に天王中体育館で行なわれる。
◎一月十五日 成人式天王小講堂で、三百十一人がおとなの仲間入り。

◎一月二十八日 第九回家庭バレーボール大会天王中体育館で行なわれる。混合は大崎、主婦は児玉、両チーム優勝。

★二月

◎町税無申告をなくすため二月十二日から三月一日まで、町内二十カ所、所得申告指導行なわれる。

◎二月十八日 青年、婦人議会役場で開かれる。

★三月

◎三月十二日から定例町議会が始まる。教育委員に渋谷氏、四十三年度予算案などを可決して三月二十六日終る。

◎新しい明正選挙推進協議会委員決まる。

★四月

◎二田地区農業構造改善事業に添う、大型機械の共同購入、四月十七日から大型機械による本格的耕起作業に入った。

◎今年度初の町政懇談会、上戸分館を開場に開かれる。

◎天王本郷分館完成、四月十七日盛大に落成式が行なわれる。

★五月

◎五月八日 青少年健全育成

総合推進地区の指定をうける町では積極的に青少年を育成

◎新しい社教委員決まる。

★六月

◎新しい青少協委員決まる。

◎定例町議会六月七日から八日まで、一般会計四百九十九万円を追加。

◎町農協米価対策本部では、六月十八日米価要求貫徹バレードを行なう。

★七月

◎七月七日 参議院議院通常選挙行なわれる。

◎七月十日 出戸浜海水浴場浜開き、駐車場の拡張でマイカー族の受け入れ万全。

◎通勤、通学者の要望にこたえ、出戸浜駅、天王駅に自転車置場設置なる。

◎七月十三、十四日 天王小プールで先生、父兄を主体とした水泳教室開かれる。

★八月

◎八月十四日 第十七回天王町定期将棋大会開かれる。

◎八月二十七日 楽しい一日町民運動会行なわれる。

◎本町九地区が県知事より、特別清掃地域の指定を受ける。

◎八月三十一日 第三回健康生活推進員大会が天王中体育館で開かれる。

◎町民待望の中央公民館建築に着手。

★九月

◎おとしより最良日(敬老会) 秋田ヘルスセンターで行なわれる。

◎定例町議会が九月六日に開かれる。教育委員に西村、渋谷

両氏再任なる。
◎共同募金始まる。

★十月

◎本町に工場誘致なる。セイコー電気株式会社、近い将来弱電界のユースに期待。

◎本町が事故防止モデル地区に、指定期間は十月と十一月の二ヵ月間。

◎十月二十日 追分分館で文

化祭。

◎大湯村第三次入植者に本町から三名選ばれる。

◎第三回産業祭盛大に行なわれる。天王小会場で十月三十日から十一月一日まで。

◎十月二十八日 出戸小創立八十周年記念が行なわれる。引き続き三十日、同校で今年で八年も続いている恒例の孫と語る会が行なわれる。

★十一月

◎十一月十八日 初の移動男鹿署本町で開かれる。

◎本町家庭バレーボールチーム県大会で惜敗、十一月二十日県立体育館で行なわれる。

◎昭和四十二年度決算臨時議会十一月二十七日に開かれる。一般会計二千七百七十一万五千円の黒字。

◎本町で消防駆けつけ訓練大会が行なわれ、大きな成果をあげる。

◎渋谷老人クラブに感謝状送られる。国民年金事業に積極的に協力。

◎昭和三十一年からの継続事業、湖岸住民待望の農免道路四千六百メートル全面舗装なる。

◎新しい民生委員決まる。十六名に厚生大臣より委嘱される。

民生委員決まる

地域福祉の推進

任期満了(十一月三十日)になつた民生児童委員に、次の方々が新たに決まりました。

さきに民生委員推せん会で、候補者を決定し、推せん内申の結果、十二月一日付で厚生大臣と県知事より次の十六名の方々に委嘱命令が伝達されました。

いままでも民生児童委員として活躍され、やめられた方は本当に長い間、ご苦労さまでした。新たに任命された方々は、町の民生行政のため、よろしくご協力願います。

また、住民の方々は民生のこととで困っていることがありましたら、担当の民生児童委員に気軽にご相談していただきたいと思ひます。

担当地区名、民生委員氏名は次のとおり

天王地区 児玉兼蔵(再)、鎌田ヤエノ(再)、柏崎佐一郎(再)
江川地区 藤原ミヨノ(再)
下出戸地区 佐々木良蔵(再)
上出戸地区 菊地米吉(新)
追分西、北野 佐々木テツ(新)
追分地区 渋谷克己(新)
二田新町 天野ミヨ(新)、鈴木ユリ子(新)、伊藤精一郎(新)、小野晃(新)
中羽立、渋谷地区 渋谷与一(新)
塩口地区 桜庭慧子(新)
羽立地区 安田慶太郎(再)
大崎地区 金栄一(再)
なお、新総務には、安田慶太郎氏、副総務に児玉兼蔵氏が決まりました。

募集要項は次のとおりです。
多数応募してください。
【内容と標題】 新有権者としての民主政治とくに選挙に対する自覚を内容とするもの。標題は自由。
【文の長さ】 二〇〇字詰原稿用紙一〇枚以内。
【応募資格】 昭和二十三年一月一日から昭和二十四年十二月三十一日まで生れた者。
【締め切り期日】 昭和四十四年一月三十一日(当日消印のあるものは有効)
【送り先】 秋田県選挙管理委員会(県庁内)
【入選者発表】 てんのう広報四月号に掲載。
【賞状および賞金】
一等 一点 二〇、〇〇〇円
二等 二点 一〇、〇〇〇円
三等 三点 五、〇〇〇円
佳作 若干 二、〇〇〇円
【応募上の注意】 ①住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、および職業を原稿の末尾に明記すること。②封筒の表面左下に「感想文在中」と明記すること。③応募作品は返却しません。④入選作品は明正選挙推進運動に自由に使用できること。⑤募集が行なわれていることを知った媒体名(新聞氏名、広報名)を明記すること。⑥応募作品は一人一点とすること。
万全を期し、スポーツ、趣味、娯楽、隊外クラブ、売店など厚生施設にはとくに力を入れています。

新有権者の感想文募集

る。

自治省、都道府県選管連合会などの主催により、新有権者の感想文を募集しています。明るく正しい選挙推進運動は選挙を通じてよりよい民主政治を実現するため、昭和二十七年以来全国的に展開されております。しかしながら選挙の実情は、理想とする姿にほど遠いものがあり、今後一層の努力を必要とする現状にあります。

そこで一日も早く明るく正しい選挙の実現を期するためには、新しく有権者となる青年男女の新鮮な感覚と意欲に期待するところがきわめて大きいものがあり、ことに成人としての門出に際し、新たに政治に参加する意義を一層深めていただくこととするものです。

自衛官募集

常時受付、毎月入隊

自衛官を募集しています。日本

の平和を守る自衛官、規律正しい生活、学習、訓練、スポーツですぐれた社会人として成長します。

身分・待遇 特別職の国家公務員で二士初任給は月一万六千円のほか、各種手当、賞与年三回、退職金もあなっています。

応募資格 十八歳から二十

五歳未満の男子と

その他くわしいことは役場の

総務課か自衛隊秋田地方連絡部

その他くわしいことは役場の総務課か自衛隊秋田地方連絡部にお問い合わせてください。

成人と国民年金

国民年金

二十歳になると法的にも社会的にも成人として認められ成人としての権利が与えられ義務が課せられます。

その義務の中で、日本国民は二十歳になると厚生年金保険などの公的年金制度の加入者、その制度から年金を受けることができる人これらの者の配偶者および昼間部の学生を除いて、すべての人が必ず国民年金に加入しなければならぬ義務があります。

二十歳になったばかりの若い人には、年金というものを遠い将来のことのように考えていてもやがては年をとって働けないときが必ずやってくる。ですから自分の老後についていまから備えていくことは社会人として最も大切な心構えです。

また最近では交通事故による障害が非常に多くなっており、これが、このような不慮の事故についても、生活の不安をなくすために、国民全体が協力しなければなりません。とりわけ働く能力のある若い人たちの協力が必要です。

二十歳になり、国民年金に加入しなければならぬ人で、ま

だ加入しておられない人は、すみやかに国民年金の加入手続きを役場で行ってください。

保険料が変わります。

今月分から国民年金の保険料が五十円高くなり、三十五歳未満の人は月額二百五十円に三十五歳以上の人は月額三百円となりました。今月分以降の保険料の納付に当たってご留意ください。

冬期間の検針について

簡易水道利用の皆さん、日頃水道事業については特段のご協力ありがとうございます。

毎年のことではありますが、冬期間は量水器の検針が困難になります。したがって十二月から三月までは基本料金の三百五十円をいただき、四月に四ヶ月分の検針精算いたし、四月検針の結果、月々十立方メートルを差引き、なお超えた分については超過料金をいただきますのでよろしくご協力ください。

工業統計調査にご協力を

通商産業省では、毎年十二月三十一日現在で実施している工業統計調査を行なっています。

この調査は、わが国の工業の実態を明らかにし、国や地方公共団体の行政施策の基礎資料や民間企業の経営の指針にする重要な統計調査です。

各事業所から提出された調査票は、厳重に保管され、統計以外の目的に使用することが固く禁じられています。

後日、調査員が訪問しますのでご協力ください。

新 寿

追分西 渡部 六愁

初鏡化粧おさなき頬かくす
賀状とさり心のはづむ音のせ

北国の昏さに開く福寿草
初灯下幼児全身もて歩む

親と子と灯の広さもてかるた
取る
初雪花の松を距てて日本海

◆ 一月の解説
一月のことを陰暦では「むつき」と呼びます。これは年の初めにお互いがむつみ合うことから起こったといわれます。

さて、一月は五日が小寒といつて、いわゆる寒の入りが始まります。この日から節分までの三十日が「寒」で、一年の中でいちばん寒い季節になります。

一般にこの「寒」の間いろいろな行事や風習、言い伝えなどがあります。

寒中水泳、寒げいこや、宗教的な行事としての寒参り、寒行などがあります。これは、日本

季節の話題

独特のもので、寒い真最中に、身心を鍛錬しようとした珍しい習慣といえます。

こうした行事や風習は、寒さのため、運動不足になり、病気にかけやすいことから、われわれの祖先がこの季節に対処するための考えた生活の知恵といえます。

◆ やく(厄)年
昔から、男は二十五歳、四十二歳、六十歳で、女は十九歳、三十三歳、四十二歳が厄年で、この年にあたる男女にはなにか厄介な事件がおこるといわれていました。

この厄年は、中国の古い陰陽道によるもので、いわば一種の迷信的なものといえます。

ただそうした年齢を迎えた男女はやはり人生の転機に立っていることはいなません。

男の二十五歳前後、女の二十歳前後は、それぞれ、人生の出

発点に立っていると考えられますし、女の三十三歳は精神的肉体的の転換期にあるし、男の四十二歳といえは、社会的な重圧、家庭への責任と男女共にむずかしい年齢といえることができそうです。

人生のあるポイント、ポイントをうまく乗り切れることを、この新しい年を迎えた時に、考えることは、決して無駄なことではありません。

◆ お正月の松・竹・梅
お正月になぜ、松竹梅がめでたいとされているのでしょうか。松は「祭り木」まつりぎ。から転じたことばといわれます。これは、一年中、青々と何千年

もの風雪にたえて、たいへんおめでたい木とされています。

竹は「丈」(たけ)とも、または「長」(たけ)に由来することばと考えられています。一説には「高」(たかい)から転化したともいわれていますが、いずれにしても、たけ高く、すくすくと成長すること、その幹はいつも青々としていて、色を変えないことから、おめでたいとされています。

梅は「熟実」(うみみ)から転化したことばといわれ、寒中にもかかわらず、諸木に先立って花を咲かせることから、おめでたいとされています。

慶弔だより

二人の前途を祝福します (十一月中)

- | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 男鹿市 児玉市 上平 秀雄 | 能代市 能代市 木平 ユリ子 | 羽立市 藤生 静晃 | 岩手県 佐藤 茂毅 | 追分市 藤田 典志 | 下出市 佐藤 敬子 | 長野県 井上 千代美 | 山形県 黒木 ミワ子 | 大形市 芳田 タカ子 | 上狼崎 金之助 咲子 | 金足 菅原 金之助 | 皆瀬村 黒三 義弘 | 下新田 石川 吉美 | 秋田市 鈴木 良子 |
|---------------|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 天玉 嶋山 幸子 | 飯田 嶋山 幸子 | 飯田 嶋山 幸子 | 飯田 嶋山 幸子 | 飯田 嶋山 幸子 | 飯田 嶋山 幸子 | 飯田 嶋山 幸子 | 飯田 嶋山 幸子 | 飯田 嶋山 幸子 | 飯田 嶋山 幸子 | 飯田 嶋山 幸子 | 飯田 嶋山 幸子 | 飯田 嶋山 幸子 | 飯田 嶋山 幸子 | 飯田 嶋山 幸子 |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 天玉 嶋山 幸子 | 天玉 嶋山 幸子 | 天玉 嶋山 幸子 | 天玉 嶋山 幸子 | 天玉 嶋山 幸子 | 天玉 嶋山 幸子 | 天玉 嶋山 幸子 | 天玉 嶋山 幸子 | 天玉 嶋山 幸子 | 天玉 嶋山 幸子 | 天玉 嶋山 幸子 | 天玉 嶋山 幸子 | 天玉 嶋山 幸子 | 天玉 嶋山 幸子 | 天玉 嶋山 幸子 |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|



- おくりやみ申し上げます
- | | | | | | | | | | |
|----------------|----------------|----------------|----------------|--------------|----------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|
| 大崎 進藤カネヲ (59才) | 天王 沼田安太郎 (65才) | 追分 佐藤 岩吉 (80才) | 天王 村山 兼吉 (86才) | 二田 島山 睦 (0才) | 二田 船木 正義 (21才) | 二田 工藤善之助 (43才) | 下出市 佐々木兼松 (71才) | 天玉 石黒 末吉 (57才) | 天玉 戸田 四郎 (55才) |
|----------------|----------------|----------------|----------------|--------------|----------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|